



大工職人による家づくり

当社は、明治十六年創業から五代続く木造建築工業です。代々受け継がれてきた良質な木材を見極める目利きと、大工職人の修練された高い技術が強みで、天然無垢材を使用した木の香り豊かな住宅を提供してきました。

行きます。聞きます。提案します
そして 伴走します

～商工会の支援事例～ 39

建設業の新分野進出支援

～事業承継を見据えた経営革新への挑戦～

支援先：株式会社沢野建設工房

https://sawano-kk.com

コロナ禍で需要が高まっている
家具市場への進出を計画

木材価格高騰の影響により収益力が悪化したため、他業種との連携による、いわゆるシナジー効果が期待できる家具製造を新たな収益の柱にしたいと考え、令和三年夏、後継者の澤野幸樹さんから商工会に支援依頼がありました。

新分野進出への打ち手として、まず、数年後の事業承継を見据え、後継者を中心に、経営革新計画と事業再構築補助金の申請にチャレンジすることを提案させていただきました。

共同で策定した計画は県の承認を受け、補助金も無事採択され、家具製造用の設備導入や家具工房の建設に着手することができました。

ニーズ調査とブランディングに
向け社内プロジェクトを開始

いよいよ社内プロジェクトが動きだしました。商品化に向けては、お客

様のニーズをつかむため、商工会の需要動向調査事業を活用して展示会でのアンケートやインタビューを実施し、お客様の声を反映した試作品開発を繰り返ししました。

ニーズ調査の結果を踏まえ、贈答用の家具には、贈り主の気持ちを形として残すため、メッセージや子供の手形・足型など思い出を刻印するなど、世界に一つだけの一点もの、一生ものとなる特徴的家具の考案も行いました。

また、事業コンセプトからロゴの選定、製品デザインの作成については、デザイナーを招き、社内で意見を出し合いながら、家具ブランド(SAWANO FURNITURE)を立ち上げました。



ダイニングテーブルとスツール (一人用椅子)

認知度向上に向けた
伴走支援を実施

販売開始時の認知度向上に向けては、まず、地元に貢献していきたいとの思いから、市が進めている「かほく市特産品ブランド」への認定申請、ふるさと納税返礼品の登録に取り組みしました。

また、事業再構築補助金を活用して建設した家具工房のオープンニングイベントとして木工教室の開催を企画、プレスリリースの効果もあり、多くの方の参加をいただきました。



家具展示場を兼ねた工房で
木工教室を開催

新たなビジネスモデルの確立へ
新社長の更なる挑戦

住宅受注から家具販売へと着実に繋がっており、収益力も向上しました。また、金沢市の酒販店から引き合



事業を承継した
澤野新社長

いがあり、「能登ヒバを使った酒升×石川県の地酒」を復興応援セットとして販売するなど新たな販路も獲得できました。

後継者は、支援を始めてから三年後の令和六年八月、事業を承継し、現在は、新たに家具職人も採用し、オリジナル商品の開発を進めるなど、新社長の更なる挑戦が続けられています。

● 担当経営指導員から一言

澤野社長は事業承継して以来、100年企業の伝統を大切にしながら、更なる挑戦を遂げたいと、今後は、社長が目指す将来のビジョン実現に向けて、活用できる施策をお伝えし、少しでも実務的なサポートをしていきたいと思っております。

● かほく市商工会 経営指導員 今西 真

株式会社沢野建設工房

住所 〒九二九-1-222
かほく市七窪ホ5-1-1
TEL 〇七六-1-8313 三三六〇

この事例は、令和六年度石川県商工会優秀支援事例の優秀賞を受賞しました。